



キャンパス
ミュージアム散策

絵・文／松永 拓己

大学院教育学研究科
教授・芸術家

埋蔵文化財調査センター

熊本市中央区黒髪2-39-1
Tel.096-342-3832 入場無料
開館／月～金曜9:00～17:00(土・日曜、祝日、
年末年始、本学夏季一斉休業の期間等は休館)
交通機関／バスをご利用の場合「熊本大学前
バス停」下車徒歩5分

★イラスト画は黒髪北キャンパス東端での道路工事の最
中の発掘作業の様子

★安全のため調査の柵の中には立ち入らないでください

トレンチの中の宝物

熊本大学内の小道をゆく。

大学構内でよく工事現場に遭遇する。深さ1m程度はあろうか、掘りかけのトレンチが何ともいえない不思議な風景に思えて仕方がない。中をのぞくと、沢山の線がアートかと思うように色違いの層ごとに描かれ、凹凸も丁寧に掃き出され露出されている。重機の傍らでは、しゃがみ込んだ作業員が細かい手仕事をしている。

トレンチ内は時代区分で線引きをしているとのこと。これは、明治のころ、ここあたりは縄文、この窪みは木の根っこ跡、あるいは……。実に上品に掘り分けられている。丁寧な仕事が見てよくわかる。やがて工事が完了すると、土管を入れ、埋め戻してしまうのが勿体ないほどである。細かい瓦礫と貴重品との違いを見分けながらの埋蔵文化財の発掘である。

明日は雨の予報。トレンチの中は、さぞぬかるむことだろう。蚊取り線香の香る中、黙々とした仕事を手際よい。

熊本大学黒髪南キャンパスの最南端には「埋蔵文化財調査センター」が開館している。出土品の展示が行われており、古代へのロマンを巡らす場所である。

足の下1mには時として貴重な宝物がある。

